

## 林政審議会施策部会委員から出された主な意見

平成21年7月15日(水曜日)に開催された林政審議会施策部会において、平成21年度森林・林業白書の検討に当たり、取り上げるべき事項や今後求められる施策等について意見交換が行われ、委員から以下のような意見が出された。

白書作成に当たって、トピックスを国民一般向けのものに、本体を現状をより分析的に書いた実務者向けのものとするについては概ね賛成。

トピックスには、単にその年度の動きだけではなく、課題や今後の展望に関わるものも取り上げるべき。この際、国民の利益と林業分野の利益が必ずしも一致しない場合があることを踏まえ、森林・林業を国民全体で支えていくことについての理解を醸成するような内容とすべき。

本体については、分析的に書くのは良いが、内容が難しくても理解しやすい記述とすべき。この際、厳しい面ばかり捉えるのではなく、今後の展望に関わる事例や明るい話題についても盛り込むべき。

特集章において取り上げようとする林業経営の概念については、関係者の間でも多様なものとなっている。誤解がないようテーマを絞り込むなり、林業経営という言葉自体を違う言葉で置き換えることも考えるべき。

紙や住宅・環境分野など他省庁所管の施策でも林野庁の施策とつながりのある動きについては、木材利用などの切り口で積極的に取り上げるべき。